

学習の指針（シラバス）

教科名	美術科	実施学年	3年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点を理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追究し、創造的に表すことができる。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的、創造的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
- ・主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していくことができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	ロゴマークのデザイン	・構成や装飾、用いる場面や環境を基に主題を生み出し、美的感覚を働かせ洗練された表現の構想を練る。	3	作品制作への 取り組み 作品 鑑賞プリント 振り返りカード
	5	版画 デザイン	・版画の種類について知識を深める。	8	
	6		・使う目的や使用者の気持ち、ユーモアなどからテーマを生み出し、使いやすさと美しさなどの調和のとれたデザインの構想を練る。		
	7	美術作品鑑賞	・道具の特性を生かし、見通しをもって制作する ・材料や用具の特性を生かし、表現方法を追求し、制作の順序を考えながら、見通しをもって制作する。 ・美術作品を鑑賞し、良さや美しさ、表現の工夫を感じ取る。	1	
第2学期	9	デッサン 自画像	・対象を深く見つめ自分の表現方法を追求し、心豊かに表現する。 ・自分の顔や性格を深く見つめ、感じたこと、考えたことからテーマを生み出し、想像的な構成を工夫し、心豊かに表現する。	10	作品制作への 取り組み ワークシート 作品 鑑賞プリント
	10				
	11	美術作品鑑賞	・自他の作品を鑑賞し、よさや美しさ表現の工夫を感じ取る。	4	
	12	堆朱	・使う目的や使用者の気持ち、ユーモアなどからテーマを生み出し、使いやすさと美しさなどの調和のとれたデザインの構想を練る。		

第3学期	1	堆朱（続き）	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期末に考えたデザインを基に、堆朱のキーホルダーの制作をする。 ・対象を深く見詰め自分の表現方法を追求し、心豊かに表現する。 ・材料や用具の特性を生かし、表現方法を追求し、制作の順序を考えながら、見通しをもって制作する。 ・自他の作品を鑑賞し、よさや美しさ表現の工夫を感じ取る。 	9	作品制作への 取り組み 作品 鑑賞プリント
	2				
	3				

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	形や色彩、材料、光の性質、それらが感情にもたらす効果を理解しているか、また材料や用具の生かし方を身につけ、意図に応じて自分の表現方法を追求し、見通しを持って創造的に表すことができているかを、提出作品より判断をする。	作品
思考・判断・表現	感じ取ったことや考えたこと、伝える相手や使う人の気持ち、環境や社会との関わりから主題を生み出し、総合的に考えながら心豊かに構想を練ることできているか、また美術作品から造形的な良さや美しさを感じ取ることができているかをワークシートや提出作品などから判断をする。	アイデアスケッチ ワークシート 鑑賞プリント 作品
主体的に学習に取り組む姿勢	美術的な知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し技能の練習や調べ学習など学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかを提出物や作品、制作の進め方などで判断をする。	アイデアスケッチ 鑑賞プリント 作品 作品制作への取り組み

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・夏休みの課題はありません。
- ・鑑賞プリント等の提出物は、必ず提出しましょう。

5 教材等について

- ・教科書：美術 2・3 （開隆堂）
- ・副教材：千葉の美術 美術資料（秀学社）、
- ・その他：スケッチブックを使います。 ポスターカラーはあまり使いません。